

# 「ゆったり学ぶ、人とつながる」

## 西安滞在型養生旅行 参加者、募集!!

退職後ようやく自由の身となつて、多くの人たちが世界各地へ行き、歴史、文化、景勝地、建築物そして人々と触れ、見聞を広げ楽しんでいきます。しかし、多くの場合、旅行会社のツアーに参加し、忙しく見学するのが多く、高齢になつてくると、もっとゆつくりした旅行があつてもと、考える人も増えてきています。



不夜城、中央分離帯にある歴史上の人物群像 何ヶ所もある。

視察をしてきました（日退教通信第341・342号参照）。視察前、視察中そして視察後も含め、現地の人とも数回にわたり打ち合わせを行い、以下のように実施することになりました。

**実施日**…2013年  
10月20日（日）～29日（火）  
9泊10日

**滞在場所**…中国 西安市  
工人療養院貴賓楼（ホテル）

**申込期間**…2013年  
7月1日～8月31日  
（パスポートのコピー提出）  
**出 発**…成田・関西・福岡発↓  
上海（合流）↓西安空港（帰りは逆）

**募集人員**…20～25名  
**参加資格**…日退教会員およびその家族・友人・知人

**必修活動**…太極拳、日常中国語  
**趣味活動**…書道、墨絵、刻印、囲碁、将棋、マージャン、切り絵、刺繍等

何人かのグループに分かれて活動する（申込時に希望）。

**観 光**…兵馬俑博物館、秦の始皇帝陵、華清池、碑林博物館、大雁塔、不夜城、則天武后乾陵、唐歌舞ショー他、洛陽の世界遺産（少林寺、龍門石窟）など

**費 用**…およそ25～26万円  
（航空運賃、燃油、Tax、ホテル、食事、観光入場料など）（ツインルーム利用）、レート（1元＝16円で計算）

**保 険**…海外旅行保険には加入する

**実施案**…詳細な実施案は、各単会（各県の日退教事務局）に送

りますので、それをご覧ください。本部にもあります。

**実施主体**…日退教、NPO日中交流促進協会、陝西省勤労者対外交流センター、グローシーズ・サポーツ（旅・風土記）

**連絡**…参加者のいる県の事務局には、参加者名簿を送ります。参加者個々人には、直接諸連絡をします。



唐歌舞ショー、千手観音の舞

日退教通信

No. 343

2013.4

日本退職教職員協議会

東京都千代田区一ツ橋二一六―二 日本教育会館5F  
発行責任者 西澤 清  
TEL 〇三（五二七五）二九七・FAX 〇三（五二七五）二〇八一  
E-mail jtu-obc@clock.ocn.ne.jp

# 今、重要な平和教育

## ―第62次日教組全国教研集会へ参加して―

日退教会長 北原 久 禪

大気が汚染されていない1月末、全国教研で佐賀へ行った。レセプション、全体集会そして2つの分科会を駆け回って来た。「地域における教育改革と

PTA」「平和教育」の分科会に半日ずつ参加した。九州にいる間、いろんな思いが去来した。

日退教の沖縄交流団第2次・3次で、米軍基地を見

聞し交流したので、現職の教育労働者が、どんな平和教育を

しているのか関心があつた。現職時、私は、スローガン「教え

子を再び戦場に送るな」を、教育労働者の痛恨の合言葉にして、

絶えず確認し、唱和し、諸活動を重ねてきた。

第18分科会 平和教育



戦争の不条理と悲惨さを語り、平和の願いを熱く語り、心底、新しい反戦平和の戦士を育成してきたと、思い込んでいた。しかし、何人の反戦平和の担い手が育ち、どう活動しているのか、全く検証していない。足下である、気づいた。

総合学習の27時間をすべて平和教育に充て、授業を組み立て、最後に平和宣言を作って発表した小学校。

東北の震災劇を、教職員と生徒会とが話し合い、文化祭で上演した中学校。東北の高校がヒロシマと山口の回天記念館への修学旅行で、命の尊さと戦争の悲惨さを体得した実践などなど…。

沖縄では、オスプレイ帰れ！と抗議が続いている仲間が多くいて、日本の平和が支えられている、とも考えた。

## 神本みえ子参議院議員、熱い決意で選挙戦へ！！



ブロック代表者会議後に  
決意をのべる神本参議院議員

い(4) 日退教40周年記念式典を9月14日に行うこと(5) 西安滞在型養生旅行を10月に実施すること(6) 2013～14年の役員推薦委員会の報告等を協議、確認を行いました。

その後、神本みえ子参議院議員が、7月に行われる予定の参議院議員選挙に向け、「昨年末の総選挙では自公が圧勝し、憲法、教育、脱

原発が大変な危機になった。日教組は子どもを守る皆になり、教え子を再び戦場に送ることのないように、私はチルドレンファーストで教育現場からの議席を守る決意だ」と訴えました。

日退教は3月8日に、第4回役員会と第2回ブロック代表者会議を開催しました。ここでは、(1)「子どもたちに残そう 核のない地球(原発パンフ)」が2、300部以上の申し込みがあつたこと(2)第3次沖縄訪問団の報告とカンパが44万円集まったこと(3)2013年度の活動方針素案の提示と取り扱

## 東京集会

脱原発社会めざしてさらなるたたかいを!!

### 連帯強める日退教



東日本大震災、福島第1原発爆発事故から丸2年を迎え、各地で追悼集会や脱原発集会（世界各地でも20万人）が開催されました。新宿の明治公園には「つながろうフクシマ!」さようなら原発大行進の集会があり、日退教からも役員、ブロック代表者、首都圏各単会からの会員が、25度以上の夏日のなか、4時間に亘り集会・デモを行いました。

んは、「私たちの思いはフクシマの人たちと共にある。福島のこととは『なかったことにする』と言う連中とは闘う」、作家の落合恵子さんは「一部の利益のために多くの人たちが苦しむ社会そのものを変えていこう」、ルポライターの鎌田慧さんは「フクシマの人は帰るべき故郷や仕事、全てを失った。脱原発の原点はフクシマだ。原発に依存する社会をなくすのが、私たちの使命だ」と訴えました。その後、大江さん達も一緒に、デモ行進をして脱原発を力強く訴えました。



熱気あふれた東京明治公園

## 福島集会

「まさか忘れることはないだろう。」

しかし、そのまさかが起ころうとしている

「フクシマを風化をさせてはならない」。県民の願いであり、心の叫びです。

3月23日、福島市「あづま総合体育館」で「原発のない福島をー県民大集会」が開催され、約7000人が参加しました。

呼びかけ人吉岡棟憲さんの開会のあいさつで始まり、呼びかけ人代表清水修二さん（福島大学教授）は、被害は停電と放射能だけでは

ない、避難先での苦しみもあると現状を訴えました。

県民の訴えはこの3月1日に県立高校を卒業した高野桜さん。南相馬市小高区で被災し、山形県に避難し家族と離れて生活をしています。昨年一時帰宅が許されたときに、何を持って帰るか迷ったが、「自分が小高に住んでいた証が欲しくて、中学卒業時の写真や友達からの手紙を持ってき

た」そして「またいつか小高に戻ってきたい」が「これから人が戻るように」と計画されている街に、中間貯蔵施設がつけられているのを見て、しばらく戻れませんよと国から言われているように思いました」と、不安を述べました。

会場の体育館は3・11後は避難所として使われていたところであり、隣接する多目的運動広場、陸上競技

場は除染廃棄物の中間貯蔵施設となっています。

「福島の自治体と民意は総体として、これまで原発を受け入れてきた経緯があります。このことを悔恨の思いで振り返るとともに、あらためて福島県内に原発はいらないことを確認し、国や東京電力に県内の原発全基廃炉を求める」集会宣言を拍手で採択しました。「原発のない福島を!」「安心して暮らせる福島を!」

（事務局次長竹田邦明）



現地から反原発 福島あづま総合体育館

# 参院選、推薦候補 全員当選を!! 退職者連合院内集会開催される



3月19日、衆議院第二議員会館で、標記の集会が開催され、阿部会長が主催者を代表して次のように挨拶しました。

「衆院選の惨敗に臆することなく、参院選では9人の推薦候補全員の当選を、是が非でも実現するため、全力を尽くしたい」

次に羽山事務局長の経過報告、続いて来賓である連合・南雲事務局長、民主党代表代行・大畠章宏衆院議員、社民党幹事長・又市征治参院議員の挨拶がありました。ここで、大畠代行は、

「マスコミでは取り上げないが、民主党政権だから実現したものもある。後期高齢者医療制度は、制度と料金はそのままだが、差別的な扱いは全て取り除いたのもその一つだ。」と述べました。

この後、本集会のメインであ



神本支援を訴える  
日退教竹田事務局長

る、次期参院選の連合推薦予定候補者9名と、各組織代表による、決意表明がありました。

日退連推薦予定候補者の神本みえ子参院議員は、「子ども第一、原発ゼロ、憲法・立憲主義の方針を貫くこと、また弱い立場にいる人々に光を当てるために最大限力を尽くしたい。」と、その決意を表明されました。

竹田事務局次長は「第2次安倍内閣の改憲、国防軍集団自衛権、そして教育再生実行会議など推進の動きは参院選の結果いかににかかっている。神本はそのねらいを阻止するため戦うが、日退教も、全国各地で神本の勝利をめざしてがんばる」との力強い決意をのべました。

## ◆編集後記◆

「毎年よ彼岸の入りに寒いのは」という句は正岡子規ですが、ここ連日、冬と春が入れ替えに訪れています。

早いもので、東日本大震災から2年が過ぎました。震災からの復興は遅々として進まず、福島原発は未だ危険な状況です。事実が明らかにされないまま、各地の原発再稼働のため「事故原因地震説」を否定する言動が国民に投げかけられています。

これから3年間、国政選挙はありません。7月の参院選を勝ちさえすればいいとエコノミストの多くが指摘する「歴史の教訓を無視する危険な行為」の「無制限な財政出動・金融政策」を安部自民党は行っています。美辞麗句の衣の下から、憲法改悪、集団自衛権、原発再稼働、消費税増税と国民を苦しめようという姿勢が見えます。今号は、私たちの運動もまた動き始めた様子をお伝えします。力を抜かずに頑張りましょう。(に)